

図書館だより

名寄市立大学図書館

2019 No.3 10月31日



シリーズ5 世界の大学図書館

Amherst College (アマースト・カレッジ)

米国大学図書館の図書館運営と利用者サービス

1826年創立のアマースト・カレッジは、Frost Main Library を中央図書館として、Keefe Science Library, Morgan Music Library, Archives & Special Collections, Visual Resources から構成されている。

スタッフの配置について

フルタイムのスタッフ 50 名のうち、ライブラリアンは 15 名である。15 名のライブラリアンのうち、午後 9 時までのシフト（日曜～木曜）に入るのは 8 名であり、フルタイムスタッフの 1 週間の勤務時間は 35 時間である。ライブラリアンはフレックスタイム制を取っており、在宅勤務も可能である。ただし、レファレンス時間（午前 9 時～午後 9 時）にはレファレンス・ライブラリアンが少なくとも 1 名勤務するようにしている。

職員のうち、月給制のイグジンプトと時給制のノン・イグジンプトが存在する。ライブラリアンは全員イグジンプトである。ライブラリアン以外の図書館職員については、2 名以外はノン・イグジンプトである。

土曜、日曜及び Music library, Science Library の夜間は学生アルバイトのみの勤務となる。また、Science Library は試験期間 24 時間開館となるが、夜間は学生アルバイトのみの勤務である。アルバイトの学生数は 60 名を数える。

学生アルバイトの時間給について、仕事の内容とスキルにより、3 段階に分かれており、8 ドル～12 ドルである。カウンター勤務については、勤務中の勉強も許可されているため、時間給が安く抑えられているが、あえてそのような働き方を好む学生も多い。

カウンターには、フルタイムスタッフを少なくとも 1 名、ILL とリザーブ図書の担当フルタイムスタッフ各 1 名を配置している。午後 9 時～午前 1 時までは、スタッフ 1 名と学生アルバイト 1～2 名、午前 9 時～午後 9 時までは、レファレンス・ライブラリアンを少なくとも 1 名は配置するようにしている。



Amherst College の教科書販売の様子

図書館サービスについて

延滞について、リザーブ資料は最初の 1 時間が 5 ドル、それ以降 1 時間を超えるごとに 1 ドルずつ加算されるが、30 ドル以上の延滞料は課せられない。その他の資料は 1 日につき 2 ドルの延滞料が発生する。資料を紛失した場合には、リザーブ資料については 75 ドル、その他の資料については 70

ドルが課せられる。

施設の管理について

警備については、キャンパスポリスに任せており、図書館内の飲食については特に制限はない。

Amherst College Library

<http://www.amherst.edu/library/>

西田 麻衣子



あずき博士のまめトーク！



9月26日(木)の夜、第9回サイエンスカフェ「あずき博士のまめトーク」が開催されました。全国的に「あずき博士」として有名な、栄養学科の加藤淳教授から「道産豆類の健康機能性」の講演と、講演後の参加者とのトークでたいへん盛り上がりました。

講演のおもな内容としましては、まず最初に、豆類の基礎知識として、マメ科の植物が1万種類以上あることが紹介されました。

次に、大豆の栄養性・機能性成分として、

- ① 良質なたんぱく質
- ② 食物繊維・ミネラル
- ③ 豊富なビタミン類
- ④ 多彩な生理活性成分
- ⑤ 骨粗鬆症予防に有効なイソフラボン

そして、小豆の栄養性・機能性成分として、

- ① 食物繊維が豊富
- ② 疲れを取り、エネルギー補給
- ③ 高血圧・貧血を予防
- ④ 抜群のアミノ酸バランス
- ⑤ ずば抜けて多いポリフェノール

それぞれのことについて、いろいろな研究

データなどをもとに、たいへんわかりやすいお話をいただきました。





総合的には、豆を食べることは、アンチエイジングやメタボ予防などにつながるということがわかりました。

特に、「北海道産」の小豆はポリフェノールの含有量がとても多く、抗酸化活性がとても高いとのことでした。

また、小豆はふつう煮汁を捨ててしまいますが、捨てられる煮汁にはたいへん多くの健康機能成分が含まれていることから、煮汁を全て小豆に閉じ込め、健康機能成分をまるごと保つ、加藤先生が考案された「煮小豆製法」についてもお話いただきました。この「煮小豆製法」を用いたようかんなどは、全国的に販売されています。

終了後のアンケートにおいても、「小豆の力はすごい!」、「小豆を明日からたくさん食べます」、「アットホームな空気で楽しかった」などの感想が寄せられました。

以上のことから、「北海道のあずきはすばらしい!」（加藤教授談）ことを参加者の皆様がとてもよく理解されたのでないかと考えられます。

また、参加者から次回のテーマに関するご意見をいただきました。今後の企画の参考とさせていただきます。

（笠井寛和）

図書館の展示

図書館には2か所の展示コーナーがあります。1階のサインージのある柱を囲む弧状の展示架では時節や社会問題等に応じた展示をしています。今年度は「感染症から身を守る」「備えあれば患いなし」などのテーマで関連図書を紹介してきました。10月は「持続可能な未来のために」として、深刻な問題となっている海洋プラスチックごみ問題やSDGs（持続可能な開発目標）を取り上げた図書を展示しています。次回は「なぜゴミ屋敷?」というテーマで、その真相に迫る図書を展示する予定です。



もう一か所は2階、新着図書のコーナーです。購入から3か月以内の図書を展示し、職員やアルバイト学生によるポップも多数作成しています。更に、時々カウンター前の柱周りには「〇〇賞」などの受賞作品コーナーなどが出現します。現在は「料理レシピ本大賞 2019」の入賞作品を展示していますが、毎年とても人気があり、展示開始早々に貸出続出状態です。

選書ツアーに行きました。



10月26日(土)、今回で9回目となる選書ツアーに出かけました。

通常、図書館で購入する図書は学科や教員の要望によるものが多いのですが、学生にも実際に図書を手に取って選んでもらう企画です。6名が参加し、85冊の図書を選んでくれました。



参加者の感想

4S 目面瑠花

旭川のジュンク堂書店にて行われた選書ツアーに参加しました。私は自分の学科に関連するものや自分の関心のあるテーマから選書しました。実際に書店に行き選書することで、様々な分野の中から選ぶことができるため、自分の読みたい本や読んでみたい本に出会うことができました。

4H 坂野なるみ

2度目の参加ですが、大きい店舗で、好きな本を、予算の限りカゴに入れられるのはとても贅沢な時間でした。「図書館に入れる本」を選ぶなかで、普段手に取らない本に触れることができ、自分の興味の幅も広がりました。

図書館だより 2019年第3号
2019年10月31日発行
名寄市立大学図書館運営委員会

名寄市立大学図書館

〒096-8641

名寄市西4条北8丁目1番地

